

令和7年度 佐倉市立小竹小学校 学校経営方針

- 1 学校教育目標 「豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童」の育成
— (知) かしこく (徳) やさしく (体) たくましく—

2 めざす児童像

- | | |
|-----------|--|
| (知) かしこく | ○よく聞き、よく考え、進んで学習する子。
○自分の思いを、自分の言葉で発信できる子 |
| (徳) やさしく | ○思いやり、助け合い、友達と高め合う子
○安全な生活に心がけ、進んで挨拶ができる子 |
| (体) たくましく | ○粘り強く前向きに取り組む子
○自分の体をよく知り、意欲的に運動する子 |

3 めざす職員像

- 教育公務員としての高い倫理観と使命感をもち、児童や保護者から信頼される職員
- 指導技術の向上に努め、子どもをより良く変容させる指導力のある職員
- 児童や保護者の願いや思いに耳を傾け、児童に学びながら成長できる職員
- 互いに理解し合い、相互に連携・協力し合って課題を解決する職員

4 めざす学校像

- 安心して学べる学校
 - ・一人一人のよさやがんばりが認められ、子どもや教職員の笑顔が輝く学校。
- 子供がやりがいを感じ生き生きとした学校
 - ・子どもたちの元気なあいさつ、歌声が響く学校
- 家庭、地域に信頼される学校
 - ・学校、家庭、地域が連携して子どもの教育を進める学校
- 学ぶ環境の整った美しい学校
 - ・花と緑のある学校（整美された環境）

5 学校経営の方針及び本年度の重点

- (1) 学ぶ意欲を大切にし、主体的に学習に取り組む児童を育成する。
- (2) 思いやりや感謝の心、互いを認め合える心の醸成を図る。
- (3) 自ら考え行動し、心身ともに健やかな児童を育成する。

【本年度の重点】

（１）学ぶ意欲を大切にし、主体的に学習に取り組む児童を育成する。

- ①個に応じた指導の充実を図るとともに、児童一人一人に活躍の場を与え、主体的に学習に取り組む児童を育成する。
- ②「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善の推進により、確かな学力を育成する。（ＩＣＴ活用の推進）
- ③一人一人のニーズに応じた特別支援教育を推進する。
（全職員によるインクルーシブ教育への理解と児童支援、交流学級との連携）
- ④学校司書、読み聞かせボランティアの活用や朝の読書活動を推進することで読書習慣を身につけ、豊かな情操を養う。

（２）思いやりや感謝の心、互いを認め合える心の醸成を図る。

- ①達成感、満足感のある学校生活の推進を図る。
（生徒指導の機能を生かした授業展開、わかる授業、楽しい活動の構築）
- ②「学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめ及び不登校の未然防止と早期発見・早期解消に努める。（生徒指導委員会、生徒指導会議の充実）
- ③全職員の共通理解・共通行動による指導の徹底により、生徒指導の充実を図る。
- ④児童・保護者の声に耳を傾けながら児童理解を深めるとともに、教育相談の推進により、教師と児童・保護者の信頼関係を構築する。（きめ細やかな学級経営、教育相談時間の確保）
- ⑤「たてわり活動」による異学年との交流や道徳教育の充実を通して、自他を大切にする思いやりの心を育てる。（「みんななかま」を合言葉にした取組）

（３）自ら考え行動し、心身ともに健やかな児童を育成する。

- ①運動の日常化を定着させ、意欲的に運動に取り組むことができる児童を育成する。
（正課体育における運動の質の向上、リズムなわとびの奨励、体育的な遊びの推進）
- ②自分や友達への安全を守ることができる児童を育成する。
（日常生活での具体的な保健・安全指導による危機管理能力の向上）
- ③食に関する指導を推進し、心身ともに健康の維持を図る。
（学校栄養職員との連携による食育指導）

(4) その他の重点

○相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上を図る。

- ①教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化
- ②支え合う協働的な関係の構築
- ③相談・連絡・報告による課題への迅速な組織的対応
- ④規律ある職場環境、不祥事防止研修とモラル・アップ委員会の充実

○安全・安心で、信頼される学校づくり

- ①施設・設備・教材の点検・修繕
- ②安全に配慮した教育活動の実施
- ③防災・防犯・交通安全指導の実施
- ④各種マニュアルの整備と改善
- ⑤授業参観・懇談会・保護者面談による相互理解の推進
- ⑥教育活動の積極的な公開と発信
(学校ホームページ、マチコミタイムライン、各種たより等)
- ⑦地域(人材)の積極的な活用
- ⑧学校評価の実施と結果の公表及び学校運営の改善